

(令和6年6月24日発表)

せりざわけいすけ
静岡市立芹沢銑介美術館 企画展

「日々を染める 型染カレンダーの仕事」

◆ アピールポイント	国内外で人気を博した、芹沢銑介の「型染カレンダー」を、約 20 年分 240 点展示し、その歩みと魅力を振り返ります。
◆ 日時・期間	令和6年7月2日(火)～9月23日(月・祝) (開館時間 9:00～16:30) 【休館日】毎週月曜(7/15、8/12、9/16、9/23は開館)、7/16、8/13、9/17
◆ 場 所	静岡市立芹沢銑介美術館(駿河区登呂五丁目 10-5)
◆ 内容など	染色家、芹沢銑介の仕事の中でも最もよく知られたものの一つが「型染カレンダー」です。戦争直後の1945(昭和20)年、空襲で焼け出された芹沢は、寄寓先の日本民藝館で和紙に型染をした「型染カレンダー」の制作を始めました。1946(昭和21)年のカレンダーは100部ほどでしたが、ほどなく人気が高まり、やがて国内外に1万セット(12万枚)を頒布するほどになりました。あふれんばかりの模様とアイデアが盛り込まれた型染カレンダーは、1984(昭和59)年まで39年間にわたって制作が続けられました。芹沢の没後も復刻版が継続され、今年(2024年)のカレンダーまで79年間も途切れることなく多くの人々に愛され続けてきました。その歩みと魅力を、約20年分240点のカレンダーを通して振り返ります。 
◆ 観 覧 料	一般 420 円 / 高・大生 260 円 / 小・中 100 円 ※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生(通学含む)・未就学児は無料 ※障がい者手帳の提示により本人及び同伴者1名無料

ぜひ取材をお願いします。

【当館 HP】 <https://www.seribi.jp/>

【問合せ】

静岡市立芹沢銑介美術館

(駿河区登呂五丁目 10-5)

担当 田中、山田

電話 054-282-5522